5つのこだわりから生まれた次世代ガラス系コーティング
ワンランク上の品質を愛車に．．．

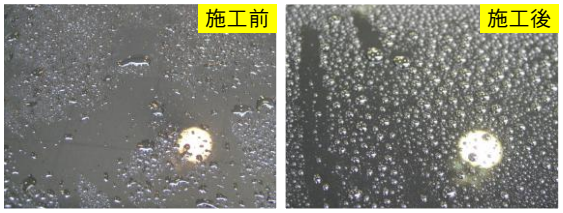
ルリコート Ohruri Body Coating

素材

大切な愛車を保護するものだから、車にもそして環境にも安全な素材にこだわりました。
有機樹脂及び揮発性有機化合物（VOC）を使用しない無溶剤・無機質のセラミックコートです。

美しさ

仕上りの美しさにこだわりました。 ルリコートの被膜はまるで
クリアをもう一枚のせたような重厚な光沢を生みます。



防汚性

汚れにくいこと、そして汚れの落としやすさにこだわりました。 ルリコートの被膜は紫外線等、光線での
材質変化は起こりにくく、耐熱性、耐酸性があり、様々な汚れをシャットアウトします。

耐久性

美しさ・防汚性を長持ちさせるための耐久性にこだわりました。 ワックスやポリマーなど従来の有機結合
よりも強い無機結合により、緻密で強靭な不活性の被膜を形成し、約2年間(※)持続します。

（※ 駐車環境・洗車回数・走行条件等により異なります）

メンテナンス性

お手入れのしやすさにこだわりました。 日頃のお手入れは水洗いもしくはシャンプー洗車で十分です。
約半年間持続の撥水成分を結合させてありますが、撥水効果がなくなってもその下の無機ガラス被膜が
しっかりと愛車をガードします。

「1台分施工セット」好評発売中!!

税別価格 3,500 円

極上の輝きと無機質被膜（常温硬化型　無溶剤・無機質コーティング）

Ohruri Body Coating 取扱説明書

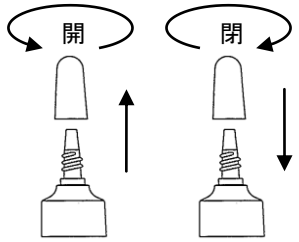
ルリコート 1 台分施工セット ［品番 OBC-SET1］

■内容物

①ルリコート（10g）×１
②スポンジ×１
③マイクロファイバークロス YS×１
④ルリコート冊子×１
⑤取扱説明書×１[本紙]

キャップの開け方

コート剤滴下時には、白いキャップの先端部分を下図のように回して開け閉めしてください。（キャップの下部が一緒に回らないように注意してください）



応急処置 ［ルリコート］

●万一飲み込んだ場合は、無理に吐かせず直ちに医師の診断を受けてください。
●誤って目に入った場合は、直ちに流水で15分以上十分に洗浄し、医師の診断を受けてください。
●皮膚に付着した場合は、布等で素早く拭取り、石けん等で十分に洗い流してください。
●使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに使用を中止し、通気の良い所で安静にしてください。気分が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。

保管及び廃棄方法

●子供の手の届かない場所に保管してください。
●液剤は必ず密封し、凍結を避け、直射日光の当たる場所や 40℃以上になるところや 5℃以下になるところには保管しないでください。
●廃棄の際は、地域の法令に従い適切に処理してください。

⚠ 警 告 ●液剤は人体に害がありますので、故意に吸入、点眼したり飲まないでください。●目に入ると障害を生じる恐れがありますので十分に注意してください。●皮膚の弱い方はかぶれる恐れがありますので、保護手袋を使用してください。

⚠ 注 意 ●用途及び使用方法以外では使用しないでください。●成分の特性上、成分が分離したり、容器がへこむ場合がございますが、品質上問題はありません。液剤はよく振ってから使用してください。●火気のある場所では使用しないでください。●必ず目立たない部分でテストし、問題がないことを確認してから使用してください。●液剤が衣服にかかった場合は、シミになる恐れがありますので、必ず汚れても良い服装で施工してください。汚れた場合は速やかに洗浄してください。●本説明書に記載されている警告、注意事項に従わない場合及び誤った使用をされた場合、また天災やイタズラ等による事故、故障、破損につきましては、当社では一切その責任、保証を負いかねます。●製品の仕様は予告無く変更になる場合があります。

ルリコート	
●名称	クリア塗料
●用途	自動車ボディ保護被膜形成
●成分	オルガノポリシロキサン
●内容量	10g
◆危険物区分	第4類　第３石油類（非水溶性）危険等級Ⅲ
警告 引火性注意	**飲用不可 火気厳禁**

紙：説明書　プラ：容器：PE 外装袋：PE

発売元: 有限会社サンシンコーポレーション
〒224-0023 神奈川県横浜市都筑区東山田 1-31-13
TEL 045-878-2860　FAX 045-516-4393

■施工手順

●全ての施工は屋内で行ってください。 やむを得ず屋外で施工する際には、直射日光を避け、風等により埃や異物が付着しないようにしてください。
●右図のように車体を５つのブロックに分けて、必ずブロック毎に下記の手順で施工を行なってください。（高温・多湿時には更に細分化してください）

手順1） 水掛け ※十分に水を掛けてボディの熱を冷ましてから作業してください

はじめに水アカ等の汚れを取り除き下地を整えておきます。
その後、シャンプー洗車をして粗拭きし、多少水滴を残した状態にしておきます。
洗車後時間が経っていて、完全に乾いている場合は水をスプレーします。
この時、滑りをよくする程度にして、あまり多くスプレーしないようにします。

手順2） コート剤滴下

次にコート剤を容器ごとよく振ってから、キャップの先端部分を回して開け、適量をスポンジまたは施工面に滴下します。 滴下量の目安は、A4 サイズの面積に容器を軽く押さえて 3 滴ほど滴下してください。 傾斜面等滴下しにくい場所にはスポンジ側に滴下してください。

手順3） コート剤塗り込み

すぐに水掛けした水を利用しながらコート剤を塗り込んでいきます。
専用スポンジを縦、横、縦、横に動かしながら、均等にムラなく塗り広げてください。 力を入れる必要はありません。
塗り込んだら乾燥する前（5 分以内）に次の手順「拭き上げ」を行ってください。

手順4） 拭き上げ ※塗り込みから時間が経ちすぎると拭き取れなくなりムラになるので注意

きれいな水で固く絞ったクロスで丁寧に余剰分を拭き上げていきます。
各ブロック毎に拭き上げるクロスの面を変えてください。
その後、柔らかいネル生地のクロス等で乾拭きするとよりよく仕上がります。
拭き上げ後、1～2 時間乾燥させて完成です。 輝きが出てきます。

※ ミラーやガラスの部分には施工しないでください。
※ 上記の施工は「ウエット工法」です。自動車塗装面等は作業性がよく、傷が付きにくい「ウエット工法」で施工してください。
※ ホイール等の施工で被膜を厚くしたい場合は、水掛けをしないでコート剤を適量垂らし、キッチンタオルやウエス等で塗り伸ばしながら拭き上げて施工（「ドライ工法」）してください。

⚠【施工上の注意事項】

◆施工の前に鉄粉や水アカ等の汚れを落しておくとよりキレイに仕上ります。保護効果の高いコート剤ですから施工後は包み込んだ汚れが取りにくくなります(コーティング被膜も取り除く必要があります)。
◆コート剤塗布後は、乾燥する前に速やかに拭き上げてください。特に屋外で施工する場合、乾燥時間が早くなりムラになる場合があります。万一ムラになった場合には、コンパウンド掛けが必要となります。
◆一度使用したスポンジやクロスは洗濯しても成分が硬化しますので、破棄してください。そのまま使用すると傷を付ける恐れがありますので絶対におやめください。
◆完全硬化するには約１週間かかります（気象条件等により差はあります）。その間、施工面に強い衝撃や摩擦等が加わるとコーティング被膜に傷が入る場合がありますので、洗車等はしないでください。
◆施工面を研磨剤の入った液剤（光沢復元剤、水垢落とし剤、コンパウンド入りワックス等）や硬いブラシなどで擦らないでください。コーティング被膜が削れてしまい、施工面の保護効果が失われてしまいます。
◆鳥の糞、樹液、殺虫剤などが付着した場合、そのまま放置すると施工面に浸透し、塗装面を著しく劣化させる可能性がありますので、速やかに洗い流してください。
◆正しく施工した場合は、走行条件、保管場所や洗車回数等によりますが約１～３年間持続します。
◆撥水性は少しずつ弱くなってきますがコーティング被膜は残っており疎水性に変化していきます。洗車したあとも光沢がなくなってきたと感じられたら再施工してください。

ver. S1-01-07